

## 射水市新湊博物館 運営検討委員会 会議録

- 1 開催日時  
令和8年3月5日（木）午後1時30分から午後3時まで
- 2 開催場所  
射水市新湊博物館 調査研究室
- 3 出席者  
委員 浅地委員、石黒委員、牛塚委員、藤井委員、森委員、米原委員、  
菱手委員  
事務局 久々江博物館長、稲垣館長代理、松山学芸係長
- 4 欠席者  
委員 なし
- 5 議題及び会議結果  
(1) 令和7年度事業進捗状況報告  
「資料の収集・整理事業」、「調査・研究活動」、「展示・教育普及活動」、「管理運営事業」、「今後の課題」の項目に沿って報告した。
- 6 会議資料  
別添のとおり
- 7 会議経過  
浅地委員長が中心となり、議事を進行した。事務局から「令和7年度事業進捗状況報告」について事務局が説明したところ、各委員から次のとおり意見が出された。これらを十分に検討のうえ館の今後の管理運営に反映していくよう求めがあり、これをもって閉会した。

会議録確認者 委員長 浅地 豊

## 意見

### 〔全体〕

- ・射水市全体の歴史と伝統文化をカバーする博物館であるので、館の名称を「射水市博物館」とすべきである。
- ・来年度の企画展も頑張って取り組んで頂きたい。
- ・展示の結果は後からついてくるものであり、目先の来館者数にとらわれる必要はない。
- ・企画展ごとに面白いトピックがあればよい。
- ・博物館の存在する目的は観覧者数を増やすだけではない。
- ・射水市の情報発信施設という視点を有した再整備も必要である。
- ・過去の企画展と、現在行っている企画展のデータを比較することで運営の長期見通しを組み立てることができる。
- ・開館30年に向けて、多くの人々が来館できるようなイベントをしてはどうか。
- ・良い収蔵資料や展示資料があれば、適材適所で展示していくべきである。
- ・ポップな印象を受ける展示があれば、若い方も来館しやすい。
- ・観覧してほしい対象の世代をきちんと決めて展示の組み立てや広報を行ってほしい。
- ・ここでしか見られないものを展示してほしい。

### 〔広報〕

- ・企画展ごとの広報に力を入れてほしい。

### 〔連携〕

- ・道の駅まるごと射水のリニューアルオープンに伴う来館者の増加が一過性にならないように、継続的に入館者数を維持していく取り組みが大事である。
- ・企画展に応じたテレビやラジオの番組を館内で放送してはどうか。
- ・道の駅利用者への観覧料軽減などのサービスを提供できないか。

### 〔施設〕

- ・建物の建築美をもっと宣伝すべきである。
- ・正面玄関や外観を見て、何が展示してあるか分かりにくい。
- ・照明がついていない時は開館しているのか分かりにくい。
- ・明るい雰囲気作りが必要である。
- ・外壁について、先年修理した部分に比べて修理しなかった箇所の経年の汚れが目立つ。
- ・館の内装・外観もきれいにするためにも、専門家による建物の診断が必要である。

### 〔周辺再整備〕

- ・道の駅の敷地内に博物館を作ることは、道の駅での滞在時間を伸ばす効果があり、この博物館が果たしている大事な役割である。

- ・道の駅の2施設（物産館・食遊館）の間に位置する博物館へ来館を促すため、数十万人いる道の駅まるごと射水の利用者へのアピールを強化すべきである。

〔観光への協力〕

- ・観覧料が県内他館と比べても安いので、もっと宣伝して増収すべきである。

〔体験・ワークショップ〕

- ・触ったり聞いたりして楽しむことができる展示があればよい。
- ・体験型の展示やワークショップで人を呼ぶことが大事である。
- ・敷地の外でイベントをしたからといって来館者が増加するわけではない。

〔教育〕

- ・学校の団体見学をもっと促進してほしい。
- ・利用する学校現場との意思疎通が大事である。

以上